

自由民主党
鈴鹿市議団

原田 勝二 議員

市政運営について

(質問) 津波浸水予想区域の津波避難困難者などの命を守る施策について、静岡県袋井市の「平成命山」事業や静岡県榛原郡吉田町の「歩道橋一体型の津波避難タワー」事業、三重県津市香良洲町の「高台防災公園」事業といった施策に取り組む考えがあるか。

(答弁) 現段階ではこのような事業は考えてい

ないが、既存の津波避難ビルの収容能力を高めたり、将来、整備される津波避難予測区域内の公共施設に、緊急避難のための設備を兼ね備えるなどの対応は必要と考える。併せて、「民間津波避難ビル整備工事費補助」といった新たな補助制度の創設に向けて取り組んでいる。



平成命山



歩道橋一体型の津波避難タワー



高台防災公園

公明党

池上 茂樹 議員

道路の空洞化について

(質問) 福岡市の博多駅前道路で大規模な陥没事故が発生した。本市でも道路陥没が起きる可能性は否定できない。市長の認識を問う。また、災害時に救援物資等を輸送する緊急輸送道路の空洞化調査が重要と考えるが、本市の見解を問う。

(答弁) 本市には地下鉄のような大規模な地

下空間は無いものの、過去3年間で約60件の道路陥没が発生しており、道路パトロールを適切に実施していく。また、災害時に重要となる緊急輸送道路が延べ約40kmある。この路面下空洞調査には、概算費用で総額400万円～800万円が必要となる。将来においては、埋設管の老朽化は避けられないことは事実である。限られた予算の中、総合的な道路管理の一環として、路面下空洞調査を含め検討していく。

その他の質問 ○水道事業について

リベラル鈴鹿

板倉 操 議員

女性活躍と特定事業主行動計画

(質問) 教職員(県費職員)の待遇改善が遅れている点を中心に質問する。この計画は、国が市町に求めたもので、少子化を止めるために、行政も一事業主の立場から、雇用する職員が子育てと仕事を両立し、子どもたちが健やかに成長できるようにする計画である。平成18年以來の数回のアンケートで、現場の実態を把握し、目標を持って進めてきたはずだが、学校現場では

いまだに妊娠・出産時のための休憩室の設置や洋式トイレの整備が進んでいない。同じ雇用主なのに市職員との差が著しい。誰が進捗に責任を持ち、チェックしてきたのか。その方法が間違っているのではないか。

(答弁) 教育委員会としては、現場の教職員の声を真摯に受け止め、働きやすい環境づくりに取り組む。また、特定事業主行動計画推進委員会も各取り組みの進捗などを把握し、各任命権者に必要な措置を講じるよう進言を行っている。

その他の質問 ○本庁舎清掃業務委託の問題点

自由民主党
鈴鹿市議団

森 喜代造 議員

教育行政について

(質問) 命の大切さについて問う。①生徒の暴力行為。②生徒の自殺予防。③がん教育の推進。

(答弁) ①市内の小中学校では減少傾向にあり、学校がカウンセラーなどを活用したことで支援体制の効果があつた。また、対教師の暴力も年々減少しており、命を大切にする教育の推進とともに生徒指導の充実を図っていききたい。

②悩みを抱えている児童生徒を早期に発見す

ることが重要であり、各学期にいじめアンケート調査を活用し、子どもの自殺予防のマニュアルを活用した研修を行い、教職員の指導力の向上を図る。

③がんに関する理解や知識を深めるための教育を学校において進めていくことにし、昨年、明生小学校がモデル校として5・6年生を対象に授業を実施している。児童からは、早期発見と生活習慣について考えるきっかけとなったといった声が挙がっている。

その他の質問 ○救急対応について